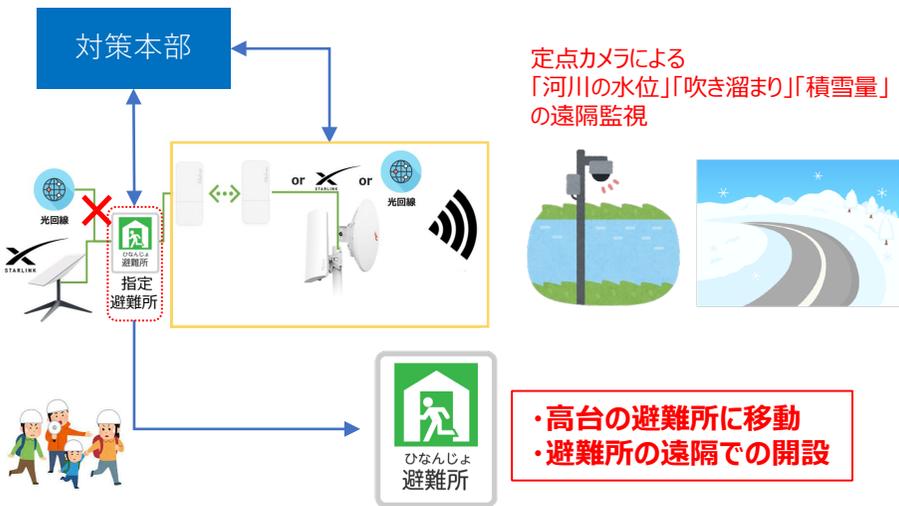


10 防災・減災 地域連携と災害・減災対策の為の機器導入とネットワーク整備及び活用事業

実施体制 <small>(下線：代表機関)</small>	北海道斜里郡小清水町、(株)イーベース・ソリューションズ		実施地域	北海道斜里郡小清水町（町内公共施設）	
整備する通信インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ Wi-Fi ➢ 衛星回線 	主な補助対象機器等	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 屋外用カメラ ➢ 遠隔操作可能屋外用カメラ ➢ くりわな ➢ キーボックス ➢ 衛星回線 	目標	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 暴風雪による車両の立ち往生回避と、除雪作業の効率化 ➢ 昨年倍増したエゾシカなどの獣害による農作物の損害と損失を最低限に留める ➢ 河川氾濫による住民の孤立対策
事業概要	小清水町において、浸水エリアの常時河川監視、避難所開設作業の即時化、農作物被害対策のためのエゾシカの適期駆除という課題が存在。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 指定避難所付近の町道橋脚や国道に定点カメラを設置し、通信回線環境に依存することなく常時監視できる環境（衛星回線等）を構築。 ➢ 指定避難所に衛星回線等を設置し、遠隔での避難所の開閉を実施。 ➢ エゾシカのくりわなにセンサーを取り付け迅速に確認することで、適期に駆除。 				

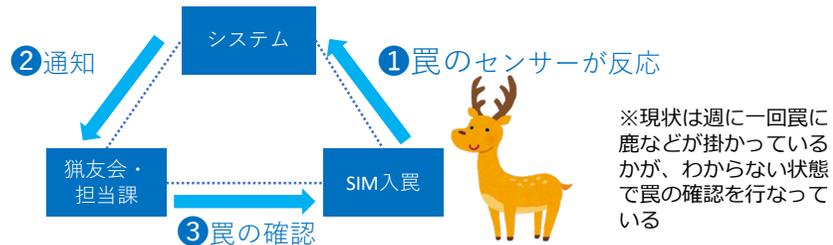
1. 避難体制の確保

小清水市街地の2級河川が2本流れている他、沿岸地域に隣接する指定避難所3カ所が氾濫・津波による浸水や雪による吹き溜まり、通行止めになることが想定される。指定避難所の近くの町道橋脚や国道に定点カメラを設置し、通信回線環境に依存することなく、常時監視できる環境（衛星回線等）構築をする。災害時公共施設等は避難所となるため、遠隔解錠を行い迅速な避難所の開設を行う



2. エゾシカ用の罠にセンサー連携

エゾシカによる被害が年々増加しており、昨年までは罠のみを設置し駆除していたが、くりわなをエゾシカがよく通る箇所に罠を設置。現在は職員が定期的に罠の確認を行なっているが、罠にセンサーを付けることで緩和。



3. インターネットによる防災情報配信の継続性

防災メールや公式LINE、町アプリは防災情報配信ツールとして住民との重要な接点であり、通信手段途絶による二次災害の抑止。（補助事業にてネットワークを構築したものを活用。）

